

九州初開催第2弾！

サイエンスコミュニケーション講座 in 九州

サイエンスコミュニケーション基礎II

「サイエンスコミュニケーション講座 in 九州」は、国立科学博物館が毎年開催している「サイエンスコミュニケータ養成実践講座」の基本的な部分をセレクトしたものです。

3回シリーズ第2回目の「基礎II」(※)では、活動の現場におけるリスクマネジメントを中心にとりあげます。サイエンスコミュニケーションにとどまらず、野外活動やアウトリーチ活動などの実践現場全般において是非知っておきたい内容となっています。

平成25年3月1日(金) 13:00~19:00

1限 13:00~14:30「科学と人々をつなぐ・組織におけるリスクマネジメント」

リスクマネジメントは、リスクをコントロールする手法。博物館等施設内での事故・クレームの状況と対応、自然観察などフィールドでの事故事例と対応について解説します。

2限 14:40~16:10「刑事・民事裁判の事故事例からみるリスクマネジメント」

子どもの体験活動等に関する実際の事故事例から、私たちが最低限知っておかなければならないリスクマネジメントの“キモ”を、法廷に立ち続ける弁護士の立場からお伝えします。

3限 16:30~17:50「事故と補償とヒューマンエラー」

実際に事故が起きた場合の補償や事故の防止について、事例をひきながら紹介し、その背後にあるヒューマンエラーについて解説します。

4限 18:00~19:00「事例共有、パネルディスカッション」

終了後、19:30~21:00 情報交換会(希望者)

講師

井上透

国立諫早青少年自然の家・所長

早川修

早川総合法律事務所・弁護士

町頭隆児

有限会社オフィステラ・代表

参加費：無料(情報交換会の会費は3000円前後を予定しています。)

会場：九州大学箱崎キャンパス旧工学部5号館7階
多目的演習室 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1



申込方法

参加される方のお名前、ご所属、情報交換会への出欠、あれば質問・コメントを明記の上、下記までメールにてお申し込みください。

メールアドレス：qcafe@museum.kyushu-u.ac.jp

※この講座は、今回を含め全3回のプログラムです。サイエンスコミュニケーション基礎IIIは3月中~下旬に開催予定です。詳細はおってお知らせ致します。

今回の基礎IIは、九州大学が提案機関であるSAFnetのスキルアップ講習をかねています。